

九月十七日に台風十八号が日本列島に猛威を振りました。時間帯が夕方だったということもあり、夕食の準備やお風呂などに影響を受けた方もたくさんいたのではないのでしょうか。

そこで考えて頂きたいのが日頃からの備えの大切さです。雨樋や排水口の掃除、いざという時にどう行動を取るかを平時から考えるのも備えのひとつです。私が所属する北島町女性防災会のメンバーも今回の台風襲来を受け、事前にお風呂に水を貯めたりバケツに水を汲んでトイレを流す水を用意したり、停電した時は懐中電灯で水の入ったペットボトルを照らして光を拡散させて灯りを取ったりと工夫を凝らしていました。

簡単な知識でも知っている



(570)



中村

長岡 優子

「日頃からの備え」

防災について勉強したりご相談に寄りそえればと思っっています。

台風、洪水の対策について

◎台風が来る前に!!

- ・家の周りの植木鉢など飛ばされそうな物がないか確認。
- ・ライフラインが途絶えたときのために、懐中電灯、水、食料、暑さや寒さ対策などの用意。
- ・避難準備情報や勧告が出たとき、どこへ行動するか考えて、洪水ハザードマップを確認。

◎避難する時は!!

- ・洪水や冠水で避難するときには絶対に長靴では逃げないこと。
- ・棒（つえ・傘）などで道路に異常がないかを確認しながら避難すること。
- ・夜中に避難勧告が出た時やすでに冠水している時は、無理に避難せず家の二階に避難するなどの垂直避難も有効です。

のと知らないのでは対応の仕方が変わってきます。それが安心安全につながると思います。北島町女性防災会では今後、老若男女問わず皆さんと自然災害について、平時からできる備えや

ぜひ皆さんと一緒に自分達でできる防災をしていきましょう。

十二月七日午前十時から役場六階和室にて体験型イベントを行います。これからの季節に気になるインフルエンザなどの感染症予防に効果的な手洗いの仕方や、避難生活で気をつけたいエコノミー

クラス症候群を予防する簡単な体操などを行います。ぜひ皆さん参加してみてください。

平成二十九年 度

コミュニティ助成事業実施

総務課

この助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業の一環として行われているものです。平成二十九年度は地域防災組織育成事業として、本町の自主防災組織「鍋川団地自主防災会」が関係備品を導入するに当たり、助成を受けることができました。

北島町では、現在までに設立された自主防災組織がそれぞれ特色のある活動を行っております。

今回の助成により、鍋川団地自主防災会の防災倉庫に備品（救助工具セットや折りたたみリヤカー、軽可搬ポンプ・スタンドパイプセット、担架、トラ



←軽可搬ポンプを使い訓練する様子と担架、折りたたみリヤカーを使い訓練する様子



ンシーバー)を備蓄することで、災害発生時に住民の迅速な避難と的確な救助を行うことが期待できます。